



# 銀鏡

S H I R O M I

赤坂友昭監督作品 撮影：古木洋平 録音：森英司 音楽：林正樹 歌：松田美緒  
2022年/日本/113分/カラー/16:9/DCP 製作：「銀鏡 SHIROMI」製作委員会

生命の原郷への帰還

それは

先人が遺した星への祈り





この映画の画面には敬意があふれている。  
映画の中に出てくる人たちが、引き継がれてきたものに抱く敬意。  
その人たちに、彼らが生きる世界に、  
カメラを向ける人たちが抱く敬意。そして畏怖。  
だから木一本一本、葉一枚一枚、表情一つ一つが美しい。  
そして観る者も自分の敬意を加える。

**柴田元幸** 米文学者 / 東京大学名誉教授 / 翻訳家

星とともに繰り返される営み。  
その反復の中で、時に不条理な“ゆらぎ”を受け止めながら、  
未来へと繋げていく人々の姿に感動する。

**小島ケイタニーラブ** 歌手 / 音楽家 / 作家 / 翻訳家

銀鏡神楽には、猪首や北極星の型示しなど、  
時代と共に移り変わってきた“時”の“片鱗”が  
沢山散りばめられていました。

**鶴田真由** 女優

この映画は星に始まり星に終わる。  
神楽とは何かという問いが、  
この映画をつうじて新しくよみがえってくる。

**中沢新一** 思想家 / 人類学者

この映画が、山の民の末裔たちの神楽世界を、  
私たちの眼前に展開してくれたことがうれしい。

**北村皆雄** ドキュメンタリー映画監督 / ヴィジュアルフォークロア代表

そこで暮らす人々の日々と心を、赤阪さんはこの作品により、  
白いスクリーンをもうひとつの鏡として  
映し出してくれた。

**管 啓次郎** 詩人 / 比較文学研究者

天に手を延べていく銀鏡の人々の太古からの  
心身のダイナミズムを追った「銀鏡 SHIROMI」は、  
永遠の「天と地の照応」を銀幕に発光させる。  
「生命循環としてのドキュメンタリー映画」の  
傑作である。

**鶴岡真弓** 多摩美術大学 芸術人類学研究所所長 / 大学美術館館長

縄文の気配が息づく山深い里に  
大地の恵みとともに生き  
星々に祈り舞う人々がいる



日本の古層に秘められた星への祈りと、  
星のように生きる神楽の民を追ったドキュメンタリー

凍つく冬の夜、太鼓と笛の音が山里から聞こえてくる。  
夜空に瞬く星のもと、五百年以上前のいにしえより伝わる「星の神楽」を  
舞う人々がいる。宮崎に伝わる銀鏡神楽。  
夜を徹する神楽では、古代の精霊・宿神が舞い降り、  
太陽神アマテラスの再生を祝う。



## 映画に流れるふたつの時間

ひとつは、銀鏡に流れる悠久の時間。山の花々や谷をつたう清らかな水、森に住まう動物たち。宙には銀河の時間が流れている。そして、もうひとつは神楽の里に生きる人々の時間。限界集落の村で、柚子や唐辛子を生産し加工まで担う会社をつくり、村に住み続けて神楽を守ろうとする人々がいる。未来を諦めず、今をひ

たむきに生きる銀鏡の暮らし、そこには自然に軸をおいた人間の謙虚で真摯な営みの時間が流れている。そして、一年に一度の銀鏡神楽の夜、このふたつの時間が邂逅する。銀鏡の人々の生き方は、私たちの命が悠久の時の一瞬であること、そして、今ではなく千年先の世界を想像して生きることの大切さを教えてくれる。



**銀鏡 SHIROMI** 監督：赤坂友昭 撮影：古木洋平 録音：森英司 音楽：林正樹 歌：松田美緒 [www.shiromi-movie.com](http://www.shiromi-movie.com)  
2022年/日本/113分/カラー/16:9/DCP 製作：映画「銀鏡 SHIROMI」製作委員会 [shiromi.movie](https://www.facebook.com/shiromi.movie) [shiromi.movie](https://www.instagram.com/shiromi.movie)

**7.7** 金 **13** 木 **ロードショー!**

映画のガイドブックを  
超えた  
**充実の  
解説**  
定価  
1,650円  
(税別)  
96頁

★7月7日**金**は柴田元幸さんをお迎えして銀鏡について監督と対談トーク開催!  
★7月9日**日**は映画音楽の**林正樹**さんのミニライブを開催!

オフィシャルガイドブック  
**好評発売中!**

吉祥寺パルコ地下2階  
**UPLINK**  
吉祥寺  
<https://joji.uplink.co.jp/>

